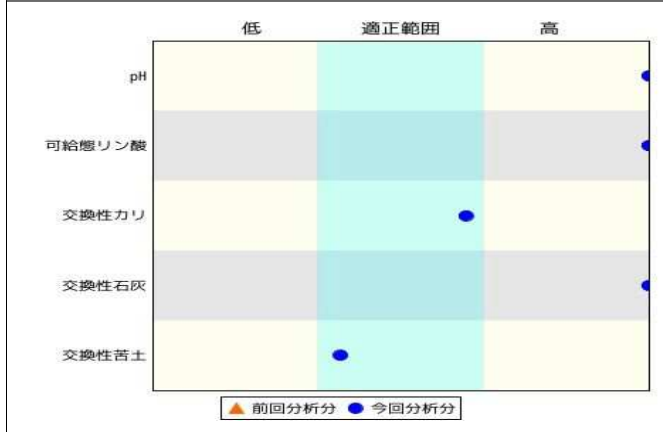


様	依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属	JA	JAいわて花巻	受付日	2023/01/12
	サンプルNo	5041				支店	花巻地域営農グループ

■ 詳細情報

圃場		面積	10a	採土場所	土淵	採土日	
作物	イネ科牧草	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類		採土時期		作土深	農家コード		

■ 分析結果グラフ



■ 分析所見

- ・pHが高くなっています。
- ・可給態リン酸が大幅に富化しています。リン酸肥料は不要です。
- ・交換性加里は適正です。加里肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性石灰が多くなっています。
- ・交換性苦土は適正です。
- ・石灰苦土比が高くなっています。バランスに注意しましょう。
- ・苦土加里比は適正です。

■ 分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	7.2 ▲高い		6.0~6.5	
EC	mS/cm	0.11			
可給態リン酸	mg/100g	68.0 ▲高い		7.0~30.0	
交換性カリ	mg/100g	25.0		10.0~26.8	
交換性石灰	mg/100g	427 ▲高い		199.1~238.9	
交換性苦土	mg/100g	38.0		37.2~42.9	
CEC	me/100g	14.2			
石灰飽和度		107			
苦土飽和度		13			
加里飽和度		4			

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
塩基飽和度		124			
Ca/Mg 比		8.0			
Mg/K 比		3.6			

■ 土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	0.0	0.0	0.0	0.0		

■ 特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壌図(農研機構:日本土壌イベントリー土壌図、<<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・CECが15me/100g未満の場合には15me/100g、40me/100g以上の場合には40me/100gとして資材量を計算しています。(水稻を除く、CEC値の大小による資材量の過少や過多を防ぐため)
- ・分析値が有効態リン酸1,000mg/100gを超える場合には1,000mg/100g、硝酸体窒素50mg/100gを超える場合には50mg/100gと表示しています。(分析上限値のため)

■ 土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)

肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
合計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過不足		0.0	0.0	0.0	0.0		

■ コメント

- 可給態リン酸、交換性石灰が高いことから、これらの成分を含む肥料と思われる過剰施用の傾向が見られます。元肥で成分を調整してください。
- 定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分を確認しましょう。

■ 土づくり肥料

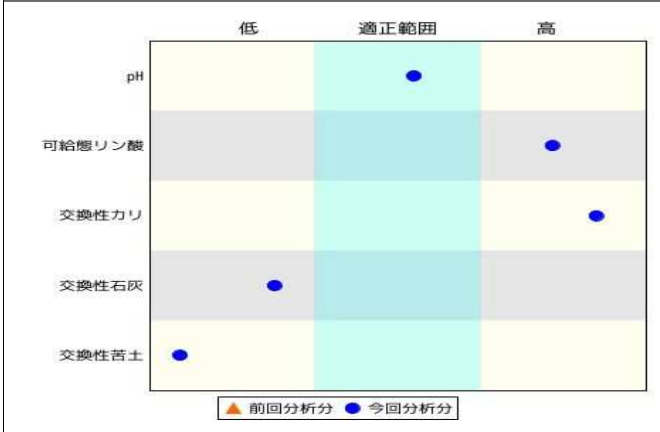
--	--

様	依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属	JA	受付日	2023/01/12
	サンプルNo	5042	JA	JAいわて花巻	支店	花巻地域営農グループ

■ 詳細情報

圃場		面積	10a	採土場所	土淵	採土日	
作物	イネ科牧草	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類		採土時期		作土深	農家コード		

■ 分析結果グラフ



■ 分析所見

- ・pHは適正です。
- ・可給態リン酸が富化しています。リン酸肥料は50%程度削減できます。
- ・交換性加里が富化しています。加里肥料は50%程度削減できます。
- ・交換性石灰が不足しています。土壌改良が必要です。
- ・交換性苦土が不足しています。土壌改良が必要です。
- ・石灰苦土比は適正です。
- ・苦土加里比が低くなっています。バランスに注意しましょう。

■ 分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	6.3		6.0~6.5	
EC	mS/cm	0.04			
可給態リン酸	mg/100g	40.0 ▲高い		7.0~30.0	
交換性カリ	mg/100g	52.0 ▲高い		13.6~36.2	
交換性石灰	mg/100g	256 ▼低い		269.2~323.0	
交換性苦土	mg/100g	44.0 ▼低い		50.3~58.0	
CEC	me/100g	19.2			
石灰飽和度		48			
苦土飽和度		11			
加里飽和度		6			

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
塩基飽和度		65			
Ca/Mg 比		4.2			
Mg/K 比		2.0			

■ 土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	0.0	40.1	6.3	0.0		

■ 特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壌図(農研機構:日本土壌イベントリー土壌図、<<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・CECが15me/100g未満の場合には15me/100g、40me/100g以上の場合には40me/100gとして資材量を計算しています。(水稻を除く、CEC値の大小による資材量の過少や過多を防ぐため)
- ・分析値が有効態リン酸1,000mg/100gを超える場合には1,000mg/100g、硝酸体窒素50mg/100gを超える場合には50mg/100gと表示しています。(分析上限値のため)

■ 土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)

肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
タンカル(粒状)	80	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
粒状硫マグ25	25	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0
合計		0.0	40.0	6.3	0.0	0.0	0.0
過不足		0.0	-0.1	0.0	0.0		

■ コメント

- 可給態リン酸及び交換性カリが高いことから有機物(堆肥)によると思われる過剰施用の傾向が見られます。
- 左の表は、不足分を補う(土壌改良分)土づくり資材です。(元肥に追加、今回限り)
- 定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分を確認しましょう。

■ 土づくり肥料

タンカル(粒状)



粒状硫マグ25

